

大規模地震対策マニュアル

学生の安全確保と初動対応ガイドライン

桃山学院大学 防火防災対策委員会 | 2026年作成

命を守るための4つのフェーズ



災害に強いキャンパスライフのための事前準備

デジタル・情報



- ✓ M-Portへのログイン確認
- ✓ 緊急連絡先の登録
- ✓ 保証人との連絡手段・集合場所の確認
- ✓ 災害用伝言ダイヤル（171）の利用方法確認

物理・装備



- ✓ 避難場所および避難経路の確認
- ✓ 非常持出品の準備
- ✓ モバイルバッテリーの常時携行

命と情報をつなぐ推奨備蓄品リスト



生命の維持



飲料水



非常食



健康と安全



常備薬



ライト



情報と電力



モバイル
バッテリー



携帯ラジオ

地震発生時の世界標準の安全行動

■揺れが収まったら

教職員の指示により行動してください。



Step 1: Drop (姿勢を低くする)

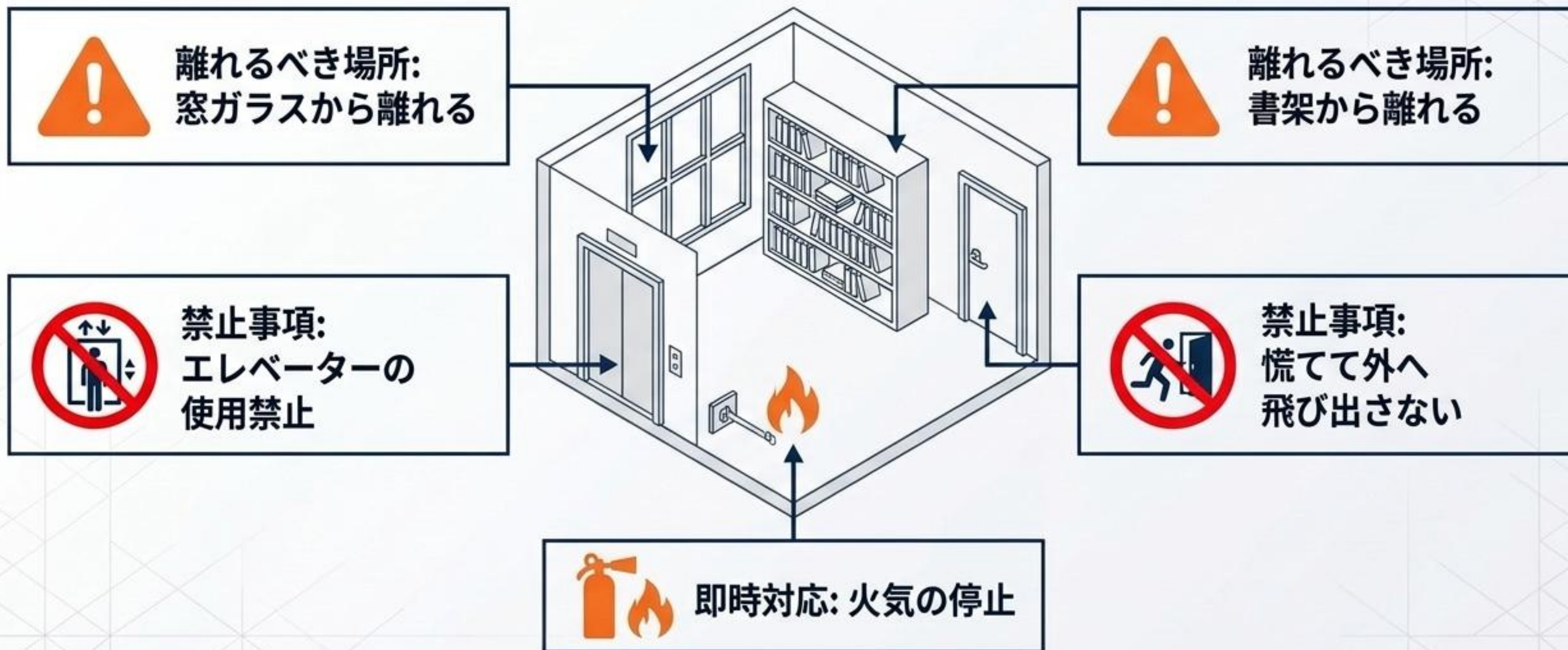


Step 2: Cover (頭と首を守る)



Step 3: Hold On (揺れが収まるまで動かない・机等につかまる)

キャンパス内における絶対厳守のルール



指定退避場所「サブグラウンド」への速やかな移動



本学では「サブグラウンド」を災害時退避場所に指定しています。

揺れが収まった後、周囲の状況を確認し、指定の退避場所へ移動してください。
各建物の非常口および避難経路を常日頃から確認しておくことが命を守ります。

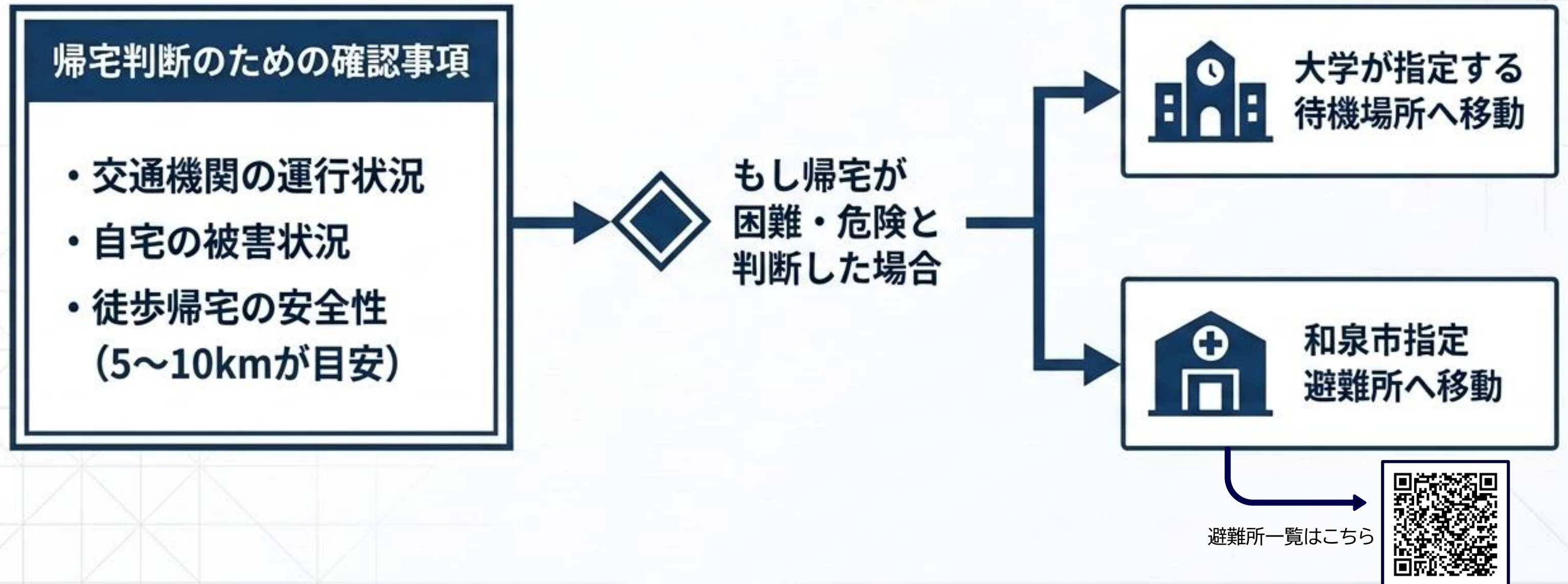
PHASE3：避難と安全確保

キャンパスマップ

各自で常日頃から災害発生時の各建物の非常口および避難経路の確認をしておいてください。



むやみに移動せず、安全な待機か避難を選択する



状況に応じた保証人との最適な連絡手段

大規模災害直後は電話が繋がりにくくなるため、以下の手段を活用してください。



災害用伝言ダイヤル（171）

提供：NTT

方式：音声

特徴：音声による安否情報の録音・確認が可能



災害用伝言板（Web171）

提供：NTT

方式：Web / テキスト

特徴：インターネット上で登録・確認。
スマートフォンから利用可能



携帯電話各社の災害用伝言板

提供：NTTドコモ / au / ソフトバンク /
楽天モバイル等

方式：Web

特徴：各キャリア独自の伝言板サービス

M-Portを通じた大学への安否報告プロセス

通信環境が回復し、連絡可能な状態となり次第、速やかに回答してください。



M-Port：命を守るための重要インフラ

現在の学生ポータルシステムは「M-Port」となっており、大学からの重要連絡や安否確認はシステムを通じて行われます。いざという時に備え、ログイン環境を常に維持してください。



授業の休講や再開、試験や行事の実施状況については、大学WebサイトまたはM-Portにてお知らせします。

日頃の備えが、いざという時の命を守ります。

本日、保証人との連絡方法およびM-Portへのログイン環境を必ず確認してください。